

キャンプファイヤー

キャンプファイヤーは、大自然の簡と炎がかもしだす神秘的な雰囲気の中で、厳粛に行なう儀式と楽しいつどいを通して、参加者の心情をゆさぶり、感動を与えるものである。

1 ねらい

- (1) 火のもっているきびしさ、あたたかさの二面を知る。
- (2) 創意工夫をこらし、出しものをつくり、発表したり、観賞することによって連帯感・協調性を養う。
- (3) 心温まるだんらんの中に郷土愛や友情を深める。

2 実施の基本事項

(1) 所要時間及び構成

事前打合せ(当日)

・会場準備	10分
・金体説明	10分
・各係の分担説明	20分
第1部 ファイヤーを迎える	15分 (儀式の火 セレモニアル・ファイヤー)
第2部 ファイヤーを囲んで	60分 (親睦の火 ボン・ファイヤー)
第3部 ファイヤーを送る	15分 (儀式の火 セレモニアル・ファイヤー)

(2) 必要な役割分担と活動内容

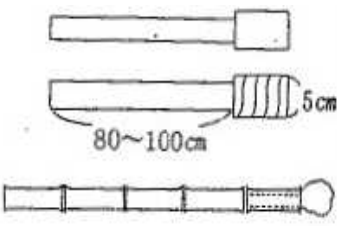
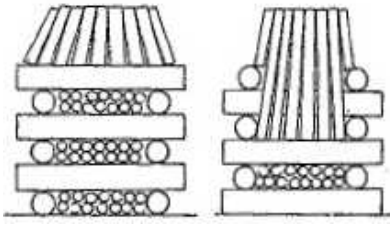
役割名	内 容	人 数
営火長	団体を代表する人で「営火長のことは」をのべる。	1名
司会者	プログラムの進行、ふん囲気をもりあげる。	1～2名
聖火係	聖火をもって営火長の先導、聖火を営火長にわたす。	1名
営火係	営火長から分火をうけ、中央まきに点火する。誓いのことばをのべる。	4名程度
火 守	まきぐみ、火守、消火、あとかたづけをする。	10名程度
放送係	テープ・マイク・照明を準備する。	1～2名

(3) 準 備

① 会場つくりと準備

まきぐみ・トーチづくり・灯油・古新聞紙・放送機材

消火・後かたづけの用具(スコップ・バケツ・ホーキなど)

	材 料	つ く り 方	備 考
ト ー チ 棒	- 木の丸棒または若竹 - 古い布切れ (木綿がよい) - 針金(細め)		- トーチの頭をあまり太くしない。 - 針金でしっかりしめること。 - 棒は短いと危険である。
井 げ た 組	- 丸 太 - そだまき - 灯油 - たきつけ紙		直径10～15cmの丸太を6～8段に積むと2時間は十分もちます。

※少人数の場合は、井げた組より、ダイヤモンド型が適している。

②各班のだしもの

- グループ全員が参加する。
- 準備に時間のかかるものはさける。
- ユーモアのある上品なもの。
- 出演者にあたたかい拍手をする。
- 演技時間は5分程度。
- みだりに席をたたないように。

③セレモニーソングの習得

- 歌詞をおぼえておくこと…キャンドルファイヤーの項参照

3 留 意 事 項

- 事前に当所職員と打ち合わせをする。
- こどもたちの係り分担を中心にした自主運営になるよう配慮する。
(事前に係分担のリハーサルを行なっておく。)
- 第1部と第3部は私語をつつしみ、厳粛なふん囲気で行なうよう事前に指導する。
- キャンプは、対象者・目的によって進行は適宜変化をもたせ、形式にとらわれず、状況に応じて創意工夫をするのが望ましい。
- 周囲の状況や風の状態によって火の燃やし方(火の粉)に注意する。
- 花火は使用しない。
- 営火場はトイレがないので事前にすませる。
- トーチは空カン利用をさけ、終了後はできるだけ焼却する。

4 火の神のこたば例

キャンドルファイヤーの例を参考にして下さい。

5 プログラム進行（例）

	順 序	内 容 ・ 方 法 □は司会者のことば	活動上の留意点
第 1 部 導 入	1	集 合 列 ・全員15分前に所定の位置に集合し待機す。(時間があれば歌の練習をする) ・各係も別の所で準備、特機する。	「聖火入場隊形」 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 聖火係
	2	全 員 入 場 ・10分前に静かに入場を始め、中央のまきを囲んで円形に並ぶ。	
	3	はじめのことば 司会者…夕日も沈み、ここ九重青少年の家にも夜のとばりがおりはじめました。友情と信頼のきずなを確かめ合い、力強く生きることを願って、ここに集まった〇〇のみなさん、今キャンプファイヤーが始まろうとしています。まもなく聖火の入場です。	
	4	迎え日のうた 歌をうたいながら聖火を迎え、「遠き山に日は落ちて」一番を歌詞で二番をハミングでお願いします。 「遠き山に日は落ちて」を一番歌詞で二番ハミングで歌う。	
	5	聖 火 入 場 ハミングの途中で聖火係は、聖火をもって円内を一周してトーチを営火長にわたす。	
	6	営火長のことば 司会者…ただ今火のつかいにより、聖なる火が、営火長のもとにとどけられました。この火は、九州の屋根といわれる久住山頂より太陽の光を集めて採火され、ここ九重青少年の家に永遠にともしつづけられている「若入の火」であります。 営火長の言葉をお願いします。 火に関すること、この〇日間の目的や成果、友情、情熱、生命、平和などについて感銘を与えるように話す。	
	7	分 火 この火をみなさんの代表者の方に分火します。営火係の方、営火長の前にお並びください。 分火をお願いします。 営火長は分火する時に「あなたには〇〇の火を与えますと友情・協同・感謝・平和などについて情熱などの火を次々分火する。	
	8	点 火 この火を中央の営火台に点火したいと思います。営火長の「点火」の合図で点火をお願いします。 営火台の四方より、営火長の合図を受けトーチを営火台の下部、(新聞紙のある所)にさしこむ。	

順 序		内 容 ・ 方 法 □は司会者のことば		活動上の留意点
9	う た	それでは、元気よく「燃えろ よ燃えろ」の歌を歌いましょ う。	「燃えろよ燃えろ」を元気に歌 う。	出しものについて
10	交 歓	司会者…中央の火の勢いよく燃えはじめました。この火を 囲んで楽しく過ごしましょう。この進行を担当する〇〇さん と〇〇さんです。よろしくお願いします。拍手でお迎えし。 ましょう		
11	全 員 起 立	まだ、なごりはつきないので すが、予定されている時間も 近づいてまいりました。最後	全員中央の火を囲んで円形 に立つ。	
12	う た	の送り火のつどいに、入りたい と思います。静かに歌いま しょう。	小さくなった中央の火を見つ めながら、静かに歌う。	隊形は一部を参照
13	営火長 のこと ば	営火長のことばをお願いします。	聖火係は、歌が終わるとトーチ に点火し営火長に渡す。 営火長は、つどいのまとめに ふさわしい印象的な話をする。	
14	誓いの ことば	ありがとうございました。つづ いて誓いの言葉をお願いします。	トーチを持って営火長の前 に整列し、営火長より点火し てもらい、感想・反省・今後の 抱負・希望などを述べる。	
15	司会者 のこと ば	皆さんの協力により、すばら しいキャンプファイヤーのつ どいことができました。ありがとう ございました。	キャンプファイヤーの終わり と別れの言葉を述べる。	
16	う た	〇〇の歌を三番までうたいま しょう。	二番くらいから肩をくみ体を ゆっくり動かしながら歌う。	
17	退 場	〇〇班から退場して下さい。	営火長のトーチを先頭に退 場する。	
18	消 化 片 付け	火守は、残り火の消火をする。消火したときは火災予防上その ままにしておき、翌朝清掃時に所定の場所に整理する。		
19	解 散	最初に整列した場所に集合し、代表者の指示を得た後、解散 する。		